

# 復興のその先を見据え、「新たなステージ」へ

熊本地震の発災から5年の節目を迎えます。この間、本市は多くの皆さまからのご支援とご協力をいただきながら、復旧・復興に全力で取り組んでまいりました。最大約1万2千世帯に及んだ仮設住宅等への入居者も現在99%以上の方が住まいを再建され、インフラ・施設等の復旧も着実に進んでまいりました。こうした今日の本市の復興は、国内外の皆さまからのご支援、そして市民・地域・行政が総力を結集し、取り組んできた結果であると確信しております。本市は、今後もこのような「人と人とのつながり」を大切に、復興のその先を見据え「新たなステージ」へ挑んでまいります。引き続き、皆さまのご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

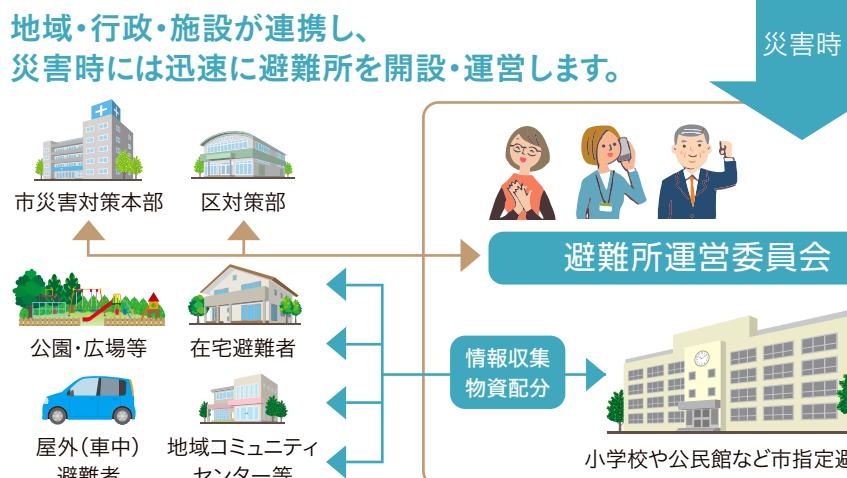


2021年4月  
熊本市長  
大西一史

## 2 防災・減災のまちづくり

熊本地震の経験と教訓を生かし、ハード・ソフト両面から市民・地域・行政の災害対応力のさらなる向上に取り組み、災害に強いまちづくりを推進します。

各校区で校区防災連絡会が立ち上がっています！



今一度確認を！災害への備え、できていますか？

「いざ」という時のために、家族で災害時の行動や備えについて話し合っておきましょう。

**食料備蓄は最低でも3日分、できれば1週間分用意しましょう！**

水は1人1日およそ3㍑必要です。主食、缶詰やレトルト食品などの主菜、副菜なども備蓄しておきましょう。また、赤ちゃんに必要なミルクや紙オムツのほか、衛生用品などは日頃から多めにストックしておくと安心です。



**ハザードマップを活用し、災害時の避難行動を確認しておきましょう**

洪水や土砂崩れなどの災害リスクを一度に確認できる「熊本市ハザードマップ」を公開しています。身近な人と一緒に自宅や学校、勤務先のほか避難場所までの経路をチェックし、事前に避難行動を決めておきましょう。

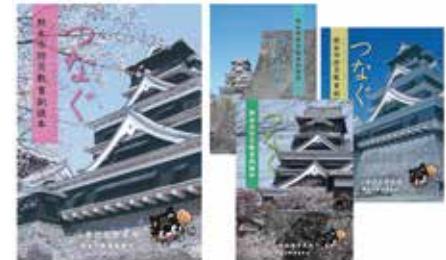
## 3 熊本地震の記録と記憶の伝承

熊本地震の記憶の風化を防ぎ、次世代へ経験と教訓を伝承するとともに、防災・減災に関する知見を広く国内外へ発信します。

副読本を活用した防災教育を推進しています！

### 副読本「つなぐ」を作成

熊本地震などの自然災害に関する市のできごとやデータをさまざまな角度から取り上げており、2018年度から小中学校の教材として活用しています。



VRを活用した体験型防災学習を行っています！

### これまで10,000人以上が参加

地震、火災、風水害のパターンを網羅しており、小学校や地域の防災訓練などで活用しています。



熊本地震の記憶を発信しています！

### 復興手記集「声」を制作

復旧・復興に尽力した関係者の今だから言える、未来に残したい「声」を集めました。



あの夜の声が聴こえてくる。

誰かを励ます小さな声  
勇気をくれた力強い声  
決意を告げる真っ直ぐな声  
未来に残したい声、その4年間の記録。

復興手記集 声 検索

購入方法

◎インターネット

販売サイト

「Amazon」ほか

販売金額2,200円(税込)

詳しくは

コチラから

QRコード



作: 桜田幸子